

新任のご挨拶

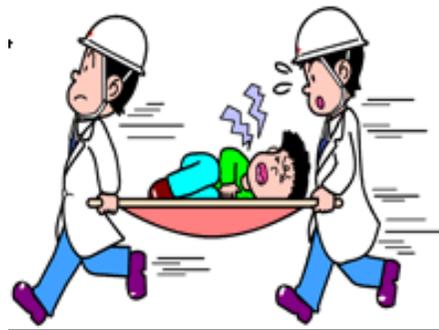
内科医師 西元 裕二



平成 30 年 06 月 01 日より迫田病院に就任いたしました西元裕二です。生まれは旧清武町、出身は都城市です。

鹿児島・福岡で学生時代を過ごし、おおむね 10 年前に県立宮崎病院において研修医として 2 年間は働きました。その後、救急医のトレーニングを長崎県大村市で 6 年ほど経験したのち宮崎大学医学部附属病院・救急科で勤務し、今回こちらに赴任しました。

救急医としての最近の私の悩みは、親戚の集まりで「専門は何ですか?」と聞かれ「救急医です」と答えると・・・。「で、専門は何ですか?」と再度聞かれます。心臓とか腎臓とか、特定の臓器を想定して質問されているのかもしれませんが、救急科が他の科名に比べてイメージしにくい科なのかも知れません。



日本救急医学会は救急科専門医について。【病気、けが、やけど、中毒などによる急病の方を診療科に関係なく診療し、特に重症な場合に救命救急処置、集中治療を行うこと

を専門とします。病気やけがの種類、治療の経過に応じて、適切な診療科と連携して診療にあたります。更に、救急医療の知識と技能を生かし、救急医療体制、メディカルコントロール体制や災害医療に指導的立場を發揮します。】とホームページに記載しています。



簡単に言うと、何でも屋さんです。つなぎ屋さんです。つなげなければ自分みみす。病気の患者さんは勿論ですが、家族だったり、地域だったり、社会だったり、経済だったり。健康から不健全なものまで何でも見て観て視て見て診て、治るものは治ればと思います。

『すべてを患者さまのために、すべてを利用者のみなさまのために』の理念の下、良質な地域医療と福祉の提供するため。そのためにも不可欠な、堅実経営をする。

猫の手も借りたいほどに、医療に関する仕事(医務)は忙しい時代となりました。迫田耕一朗先生の【鬼手仏心】には遠く及びませんが、貸してくれと言われた以上、西元も、猫の手+イムの心で頑張ります。おあとがよろしいようで。



<ご案内>
救急救命の実績を持たれた西元医師が、その経験を当院にて發揮頂けることになりました。
<西元医師の外来診察日>
毎週水曜日
13:30~16:00